

田原本をもっともっと 住みよい街にしたい！
お力をお貸しください。

田原本町議会議員

厚生建設委員会 委員長
議会改革特別委員会 委員長

ふじい

藤井 まさと

45歳

未来の田原本を考える会



～藤井が行った一般質問～

「このまちに、諦めるという選択肢はない。私は毎議会、声をあげ、真っ直ぐに行政へぶつけています。」

1期目に続き

実現 報告① 完成！新しい保育園に、子どもたちの笑顔があふれています！ 町負担は約2,000万円

■総事業額 約5億円 待機児童対策として、認可保育所を設置運営する民間事業者の施設整備に係る費用の一部を補助します。予算を確保して実現した保育所新設事業で待機児童の解消への環境づくりが、着実に前進しています。

令和3年12月

実現 報告② 脱炭素社会の実現へー 田原本町が大きく前進！

「未来を担う子どもたち」のため、ゼロカーボン社会を見据えた町の方向性についての提案・質問に対し、■地域新電力の設置と再エネの地産地消 ■防災・子育て・高齢者支援への活用 ■環境と経済を両立するグリーン成長戦略の推進 3点に町からの前向きな答弁がされました。令和6年3月「田原本町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」にも反映され、町全体で脱炭素化に向けた一歩が動き始めました。

令和4年3月

実現 報告③ 命をつなぐ支援が、田原本町で実現！ 1日当たり2万円、最大7日間で計14万円を助成！

白血病などの治療に不可欠な骨髄移植ですが、その提供には仕事を休むという大きな決断が必要です。骨髄ドナーへの休業補償制度の導入を強く訴え、田原本町で制度化が実現しました！命を救う行動を力強く支援するため、命をつなぐ政策を実現しました。

令和4年3月

実現 報告④ 田原本町として動物基金「さくらねこ 無料不妊手術事業(行政枠)」に参加！

公益財団法人どうぶつ基金による「さくらねこ無料不妊手術事業」に行政枠で参加しました。町の予算を使わず、飼い主のいない猫への不妊手術・ワクチン接種などを無料で実施できる制度であり、殺処分ゼロを目指す力強い一歩です。町とボランティア・住民が連携して人と動物が共に生きるまちづくりを進めることが可能です。

令和4年6月

実現 報告⑤ 町を支えるボランティア活動を応援！ 町内のボランティア活動環境が前進！

■ボランティア室の利用が明確化・開放 ■登録団体には施設予約の優遇を検討へ ■要約筆記者派遣制度の情報をHPで周知 行政の手が届かないところを支える住民の力を、町としてしっかり後押しし、「誰もがボランティア活動をしやすいまちづくり」を進めていきます。

令和4年9月

実現 報告⑥ 障害のある方の社会参加を、もっと自由に！「ミライロID」導入スタート！

障害者手帳をスマホで提示するだけで、公共施設や移動支援タクシー「tawamo」で割引適用。外出や交流のハードルを下げ、誰もが生きやすい田原本町へ大きな一歩を踏み出しました。さらに、町職員も「ユニバーサルマナー研修」を受講し、意識改革が進んでいます。

令和4年9月

実現 報告⑦ 子どもたちの命を守る、学校の安全管理を抜本見直し！

老朽化した校舎の危険性を建築士の視点で鋭く指摘。予防保全の強化、コストを抑える仕組みの導入を提案し、教育長と「点検体制の再構築」を約束。未来の校舎に計画的な安全点検の必要性を認識してもらいました。

令和4年12月

実現 報告⑧ 教育DX・学校連絡のデジタル化 推進へ！

欠席連絡の電話対応やプリント配布の負担を軽減し、教員・保護者・児童の三者がスマートに繋がる学校になるように提案。教育委員会より「欠席連絡のデジタル化など、導入を予定」と明言をいただき、スマートで安心・安全な学校環境づくりを前進させることができました。

子育てや教育環境を整え、人間にとって一番大切に豊かな心を育み、
安心・安全・笑顔の絶えない羨望のまちである「未来の田原本町」を創造します。

ふじい
藤井 まさと

なんでもご相談下さい。

経歴

- 自民党田原本町支部 青年局長
- 自民党奈良県連合会 政務調査審議委員
- 自民党奈良2区青年局 サイバーセキュリティ委員長
- (一社)大和郡山青年会議所 第42代理事長
- リニア中央新幹線早期実現に向けた市民運動の牽引
- 近畿ブロック副委員長
- 青少年健全育成委員
- 空手道MAC奈良支部 顧問
- 関西若手議員の会 賛助会員
- 予備自衛官(二曹)
- 茶道裏千家淡交会 青年部員

資格

- 一級建築技能士
- 宅地建物取引士
- 耐震診断員
- 二級建築士
- ブロック塀診断士

受賞歴

- リフォーム全国コンテストグランプリ受賞
- トータルハウジング大賞 7回受賞、他受賞



